様式３(2020.08改)

作成日　令和２年９月１３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001047
事業所名	グループホーム荒子の郷

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入、回覧版も廻ってくるとともに、例年夏祭りやクリスマス会などのホーム行事には町内会の子ども会の参加で賑わいます。本年度は夏祭りが中止となりましたが、子ども会には例年通りお菓子を届け、お返しにプレゼントされた折り紙クラフトはリビングの壁に飾っています。認知共用型指定通所介護の利用者も引き続きおり、コロナ禍であっても地域との関係は途切れることなく続いています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	子ども会や薬剤師など多様なメンバーを擁して隔月開催を続けていた運営推進会議は、コロナ禍となり3月・5月・7月は法人代表者である医師、薬剤師、職員と参加者を絞り3名としています。少人数でも「コロナ対策」「行事・レクリエーション」など今後の取組みについての話し合いを重ねて議事録をまとめ、名古屋区福祉課並びに東部いきいき支援センターほか、町内会、子ども会、家族といったメンバーに届けています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	「コロナ禍での運営推進会議の開催はどのようにしたらよいか」については、予め区役所福祉課に確認のうえ、少人数の縮小開催としており、判断に迷う場合は必ず区役所へ相談しています。また「中川区若年性認知症サロン」をはじめ今年度新型コロナウイルスの影響で中止となった活動は幾つかありますが、7月には東部いきいき支援センター主催の家族会向け講座における講師要請に応えることが叶っています。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会は多い人で週2～3回、概ね月1回以上と少なくなく、運営推進会議にも必ず2名の参加があり、通信や新聞発行はなくともLINEで常に情報交換できており、家族とのやりとりは充実しています。オンライン面会などコロナ禍における対応も速やかに敷き、管理者と主任どちらかが日勤に入るようシフトに配慮して、責任者が対応できるよう努めています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										